

本資料は、サノフィ(フランス・パリ)が2019年6月7日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・要約し、6月12日に配信するものです。本資料の正式言語はフランス語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。日本語で承認されている主な製品名および一般名についてはカタカナ表記をしています。

2019年6月12日

ポール・ハドソン氏がオリヴィエ・ブランディクール氏後任として CEOに就任

フランス・パリ – 2019年6月7日 サノフィ取締役会は、2019年6月6日の取締役会において、このほど引退を決意したオリヴィエ・ブランディクール氏の後任となる最高経営責任者(CEO)としてポール・ハドソン(Paul Hudson)氏を全会一致で任命しました。

ブランディクール氏は、事業環境が複雑な時期にグループを率い、成長への回帰にきわめて大きな貢献を果たしました。取締役会は、彼のエネルギーに感謝の意を表します。CEOとしての在任期間中の同氏の活動により、サノフィは成長を加速し、業界トップクラスのポジションを取り戻すための強力なアセットを持つに至りました。

2019年9月1日付でオリヴィエ・ブランディクール氏は退任し、後任としてポール・ハドソン氏が着任します。ハドソン氏は直近ではノバルティスの医薬品部門であるノバルティスファーマの最高経営責任者で、ノバルティスのエグゼクティブ・コミッティのメンバーでもありました。

現在51歳のポール・ハドソン氏は、米国、日本、欧州での幅広い国際経験をもつ経験豊富なリーダーです。製薬業界で28年間にわたるキャリアを積み重ね、シェリングプラウ、アストラゼネカやノバルティスをはじめとする大手製薬企業で活躍してきました。マネジメントとして様々な事業を経験するなかで、彼はその戦略的ビジョン、強力な指導力と優れた課題解決能力をいかんなく発揮し、イノベーションやデジタル変革を進めてきました。また、数々の大型製品の上市を成功に導いてきました。今後ハドソン氏は、パリを本拠地として活動します。

サノフィ取締役会長のセルジュ・ヴァンベルグは次のように述べています。「ポール・ハドソン氏にサノフィの一員として加わるに同意していただき、私たちはたいへん嬉しく感じております。ハドソン氏は高い技能と経験を有し、サノフィグループの成長を加速し、グループの新たな戦略的課題、特に研究開発とデジタル技術における課題に取り組むために必要な資質を備えています。ハドソン氏は、その素晴らしい人となりで、製薬業界の新たな課題や世界中の医療システムの変化に直面するサノフィのようなグループの要請に応えるよう、全ての活力を結集し、俊敏さを高めてくれることでしょう」

サノフィについて

サノフィは、健康上の課題に立ち向かう人々を支えます。私たちは、人々の健康にフォーカスしたグローバルなバイオ医薬品企業として、ワクチンで人々を守り、革新的な医薬品で痛みや苦しみを和らげます。希少疾患をもつ少数の人々から、慢性疾患をもつ何百万もの人々まで、寄り添い支え続けます。

サノフィでは、100 カ国において 10 万人以上の社員が、革新的な医学研究に基づいたヘルスケア・ソリューションの創出に、世界中で取り組んでいます。

サノフィは、「Empowering Life」のスローガンの下、ヘルスジャーニー・パートナーとして人々を支えます。

日本法人であるサノフィ株式会社の詳細は、<http://www.sanofi.co.jp> をご参照ください。

サノフィ今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995 年民間有価証券訴訟改正法(修正を含む)でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べるものではない記述です。これらの記述には、計画と予測ならびにそれらの根拠となる前提、将来の財務結果、事象、事業、サービス、製品の開発および可能性に関する計画、目標、意向および期待に関する記述、ならびに、将来の実績に関する記述が含まれます。一般的に、今後の見通しに関する記述は、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」などの表現によって識別されます。サノフィの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィが制御できず、そのために実際の結果と進展が、今後の見通しに関する情報と記述の中で表現された、暗示された、または予測されたものとは実質的に異なる場合があることに注意してください。そのようなリスクと不確実性には、研究開発、市販後を含む今後の臨床データおよび解析、薬剤・機器・生物学的製剤などの製品候補について提出される申請の承認の是非および時期に関する FDA や EMA などの規制当局の決定、ならびにそのような製品候補の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼすラベリングその他の問題に関する当局の決定に付随する不確実性、製品候補が承認された場合に商業的に成功するという保証の欠如、代替治療薬の将来的な承認および商業的成功とサノフィが外部成長の機会から利益を得る可能性および/または規制当局の承認を得る能力、知的財産に関連するリスクおよび知的財産に関する現在係争中または将来に生じる訴訟、当該の訴訟の最終結果に付随する不確実性、為替レートと実勢金利のトレンド、コスト削減イニシアチブとその後の変更の影響、期中平均発行済み株式数、ならびにサノフィの 2016 年 12 月 31 日終了事業年度フォーム 20-F 年次報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィが作成した SEC および AMF に対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているものが含まれます。サノフィは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。